

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第29号 平成21年 9月28日

久しぶりの竜のバットが最後に火を噴いた・・・

## 浅沼2回をゼロ封！今期嬉しい初勝利！



	1	2	3	4	5	6	7		R
G	0	0	0	3	2	0	1		5
P	0	0	0	4	0	0			4

9 / 2 6 (土) 神奈川の聖地、神奈川県立保土ヶ谷硬式野球場にて、PIOLAXとのGP対抗第7戦を行った。過去の戦績は、3勝3敗とイーブンで有るが、先の公式戦にて敗戦を喫しているため、前回渡したボール1ケースを取り戻す事が、今回の最大任務である。その為には、個々が与えられた役割をきっちりこなし、チームとしてまとまる必要がある。今日の我がチームは先攻、先制すると乗る我がチームだけに、是が非でも先取点が欲しいものである。しかし、そんな思いとは異なり、3回の攻防まで、両チーム0点の更新が続いた。動いたのは4回の攻撃、この回先頭の梶原は、2ストライクを取られながらも、選球良く、四球で出塁、続く竜の中前安打で、2塁へ進塁、そして、両ベンチとも驚いたシーンが待ち構えていた。何と那須は初球バントの構え、ゼスチャーかと思ったその瞬間、バットにボールを当てた。その打球は、投手、一塁、二塁の間に転がる絶妙のバントであった。(結果論かも知れないが・・・) 両チーム啞然となったが、2塁走者の梶原は、送球の乱れを確認し、痛い足を引きずりながら、一挙ホームへ生還した。恐らく、この行為、バントヒットは創部初の記録だと思う。この記録を作った那須は、1塁上で満面の笑みであった事は言うまでもない！ 続く山田のサードゴロエラーの間に、ベースランナーが一挙生還し、この回3点をゲットした。しかし、以前にも書いたが、チャンスの裏にはピンチあり、この言葉がぴったりはまってしまった。3回まで、ゼロ封で来た、先発竜であったが、先頭打者のサードゴロエラーを皮切りに、三塁線安打・四球・右中間2ベース・ショート内野安打と5人連続出塁を許し、4点を献上し、一気に逆転を許してしまった。しかししかし、最近のうちは、このままでは終わらない。5回の攻撃、相手投手は3人目をマウンドに上げてきた。しかし、その投手の立ち上がりこそ、見逃し三振を喫したが、続く2人は、2連続四球を選択、次打者は凡打で倒れたが、2アウト、2・3塁と引き続き得点チャンス、この場面に先程まで好投し、失点を許した、久しぶりの昨シーズンのMVP@竜、カウント1 - 1の3球目を見事センター前に運び、2点を挙げ、この日のゲームで、再度主導権を手にした。そして、マウンドは、今期2度目のマウンドに上る浅沼、自信無さげに、マウンドに上がったが、最初の打者だけご愛嬌で、ストレートのフォアボール、続く打者の2球目まで、ボールを6球連続ボールと少し心配、しかし、しかし、それは本当にご愛嬌で、その後は、2打者連続三振に切るなど、2回を投げ、1安打、3奪三振とお見事のピッチングで、見事今期初勝利をゲットした。安打はほぼイーブンであるのに、今日の勝敗の差は、恐らく四球数の差で有ると思う。我がチームと四球が3に対し、相手チームの与四球が6、これに足を絡めれば、大量得点。本当に四球は怖いですね・・・